

○ 環境調査結果（平成 27 年度）

（1）(株)HIRAYAMA 実施分

調 査 項 目		実施頻度	結 果 概 要	
岡田山の廃棄物 (掘削時)	25 項目 (水銀, カドミウム等)	1,000 m <sup>3</sup> ごとに 1 回 (計 39 回)	土壌溶出量, 含有量とも基準値以下	
改良土 (リサイクル製品)	25 項目 (水銀, カドミウム等)	800 m <sup>3</sup> ごとに 1 回 (計 36 回)	〃	
大気質等	粉じん	年 4 回	撤去開始前後で変化なし※	
	アスベスト		〃	
	硫化水素・メタン		検出なし	
騒音・振動		〃	撤去開始前後で変化なし※	
水質	地下水	25 項目 (水銀, カドミウム等)	年 4 回	年間平均環境基準値以下
	場内排水			
	浸出水	26 項目 (水銀, カドミウム等)	〃	〃
底質 (事業場出入口付近)	ダイオキシン類	年 1 回	環境基準値以下	

※ 基準等の設定はないため, 測定値の年間の推移を確認している。

(2) 本市実施分

調 査 項 目		実施月又は頻度	結 果 概 要	
岡田山の廃棄物 (掘削時)	25項目	月1回	土壌溶出量, 含有量とも基準値以下	
	ダイオキシン類	2箇月に1回	環境基準値以下	
土壌 (リサイクル製品搬出 時の検査)	25項目 (水銀, カドミウム等)	年2回	土壌溶出量, 含有量とも基準値以下	
土壌 (汚染洗浄後の検査)	25項目 (水銀, カドミウム等)	年1回	土壌溶出量, 含有量とも基準値以下	
大気質等	一般大気, 3項目 (二酸化窒素等)	常時	環境基準値, 京都市環境保全基準値とも基準値以下	
	有害大気, 13項目 (水銀, ベンゼン等)	年1回	環境基準値, 京都市環境保全基準値とも基準値以下(環境省が環境指針を設定している項目については, 全て同指針値以下)	
	粉じん(降下ばいじん)	年4回	京都市環境保全基準値以下	
	アスベスト	年1回	撤去事業開始前と同程度の測定値(基準等の設定はない。)	
	硫化水素	年1回	規制基準値以下	
	メタン	年1回	撤去事業開始前と同程度の測定値(基準等の設定はない。)	
騒音・振動		年1回	〃	
水質	地下水	28項目 (水銀, カドミウム等)	年2回	環境基準値, 京都市環境保全基準値とも基準値以下
	河川水	34項目 (水銀, カドミウム等)	年2回(3地点) 年6回(1地点※)	〃
	底質	7項目 (水銀, カドミウム等)	年1回	〃
ダイオキシン類	大 気	年4回	〃	
	地 下 水	年1回	〃	
	河川水・底質	年1回	〃	
	周 辺 土 壌	年1回	〃	

※ 常時監視地点であるため年6回調査を実施している。